

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2006年11月1日から2026年9月30日の間に、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、頭蓋内血管狭窄症等のために虎の門病院脳神経血管内治療科に入院・通院し、診断脳血管撮影、脳血管内治療を受けられた方

【研究課題名】

脳神経外科領域の血管造影検査・脳血管内手術の被ばく線量に関する研究

【研究の目的・背景】

目的：診断血管撮影や脳血管内手術における患者と術者の被ばくの線量の測定と最適な放射線防護方法の確立、ならびに被ばく情報管理の方法について研究を行うことです。

研究に至る背景：脳神経外科領域の血管撮影ならびに脳血管内手術は、手技時間ならびにX線透視時間が延長する傾向にあるため、患者に対するX線被ばくが重要な問題となっています。特に脳血管内手術においては、患者の皮膚の紅斑や頭皮の脱毛の発生が多く報告されています。近年では、診断血管撮影では回転撮影やコーンビームCT撮影、脳血管内手術においては適応症例の拡大により、手技時間・透視時間の延長に伴う患者被ばく線量の増加が懸念されており、一層患者被ばくに対する放射線防護の重要性が増してきています。

【研究のために診療情報を解析する期間】

2015年7月24日 ～ 2027年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院放射線部 川内寛のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診断血管撮影や脳血管内手術における被ばく線量データ、装置に記録される血管撮影装置関連パラメータ（透視時間、面積線量値、積算線量値、撮影 C アーム角度等）

【研究責任者】

虎の門病院 放射線部 小塚 拓洋

（2025 年 4 月 1 日より）

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線部 診療放射線技師 川内寛

電話 03-3588-1111(代表)